

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2161
	取組方針	シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	シティプロモーション推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図るため、「高松市シティプロモーション推進ビジョン」に基づく、新しいロゴマーク「TKMT」を活用したPRや本市の魅力の発信のほか、映像コンテンツの活用や、東京圏を始めとした大都市圏でのプロモーション活動、官民連携による情報発信などを行う。				
年度概要	シティプロモーション推進ビジョン、ロゴマークのPR等 シティプロモーション動画等のPR 大都市圏でのプロモーション・情報収集活動 シティプロモーションプロデューサーの委嘱 万博への出展				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民、本市を認知していない人や事業者
意図（どのような状態にしたいか）	市外、特に東京圏での本市の認知度向上と、市民の本市に対する誇りと愛着（シビックプライド）の醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
大都市圏でのプロモーション・情報収集活動回数	回	0	0	1,003	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		市公式ホームページ、市公式観光サイトへのアクセス数	千件	目標値 実績値	0 0	0 0	34,800 33,920	34,900
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市公式ホームページ及び市公式観光サイトへのアクセス合計数は 33,920,550件であり、目標件数を下回った。			(目標達成度)	97.5%			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(得点)	34点			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	11,517	80,574	69,348
(事業費)	[千円]	0	3,990	46,606	35,380
(職員人件費)	[千円]	0	7,527	33,968	33,968

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	シティプロモーション推進ビジョン、ロゴマーク策定PR R 動画制作PR シティプロモーションプロデューサーの委嘱 大都市圏でのプロモーション・情報収集活動 PRイベントのグッズ制作 照明演出によるシティプロモーション 人的ネットワークの運営	14,674千円 20,000千円 1,575千円 1,595千円 1,053千円 4,706千円 3,003千円	総額	46,606	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	46,606	
			令和 7 年度	シティプロモーション推進ビジョン、ロゴマークのPR 等 シティプロモーション動画等のPR 大都市圏でのプロモーション・情報収集活動 シティプロモーションプロデューサーの委嘱 万博への出展 TGCへの参加 人的ネットワークの運営	6,473千円 880千円 1,792千円 1,980千円 5,253千円 16,000千円 3,002千円
特定財源	国	0			
	県	0			
	市債	0			
	他	0			
一般財源	35,380				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度に引き続き、高松市シティプロモーションプロデューサーの委嘱を行うとともに、「高松市シティプロモーション推進ビジョン」及び新しいロゴマークである「TKMT」を策定したほか、「シティプロモーション」と「まちづくり」に関する2つの動画を制作した。シビックプライドを醸成し、本市の魅力を発信する人材を育成するため、市民参画の一環として今年度も人的ネットワークの運営を行った。ビジョン、ロゴマーク、動画について、次年度以降、効果的に活用していく必要がある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

「高松市シティプロモーション推進ビジョン」に基づき、新しいロゴマーク「TKMT」を活用した魅力発信について、市民参画や企業との連携を図りながら、積極的に推進していく。また、本市としても「TKMT」の活用方法について、シティプロモーションプロデューサーからの助言に加え、アドバイザー業務委託を行い、効果的な周知・PRを行う。昨年度、制作した2つの動画についても、SNS等の各種媒体を活用し、市内外へ効果的な発信ができるように取り組んでいく。更に、関係部署との組織横断的な連携を目的に開催しているシティプロミューティングを活用しながら、新たなシティプロモーション施策についても検討していく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	吹奏楽団事業			

【事業全体概要】

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・楽団の演奏活動を通じて親しまれる市役所とともに、市民との協力関係の強化を目指す。 ・市民主体のまちづくりのために、地域のイベントや小学校への訪問演奏などを行い、音楽を通じて地域の活性化や一体感の醸成に取り組む。 		
年度概要	吹奏楽団事業 定期演奏会（年1回）を始め、市民の依頼や楽団企画による演奏会実施		
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	吹奏楽団の広報活動によって、親しまれる市役所を目指すとともに、市民の市政への理解を深め、市政への参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
市民からの依頼や楽団企画に基づく活動回数（年間）	回	0	0	26	21	22

【事業の成果】

成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
聴衆者数（参加者数）	人	目標値 実績値	0 0	0 0	10,000 11,010	10,000	10,100
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためのイベント開催制限は緩和され、コロナ禍前の令和元年度と同程度の聴衆者数となった。 聴衆者数（参加者数）実績11,010人 （目標10,000人）		（目標達成度） 110.1% （得点） 35点					
成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度） （得点）					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	5,170	6,914	6,371	7,243
(事業費)	[千円]	1,428	1,645	1,675	2,547
(職員人件費)	[千円]	3,742	5,269	4,696	4,696

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	吹奏楽団事業 定期演奏会(年1回)を始め、市民の依頼や楽団企画による演奏会の実施	楽団嘱託員報酬 565千円 定期演奏会 517千円 楽器等購入・修繕 299千円 事務費等 295千円	総額	1,675	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	282
			一般財源	1,393	
令和 7 年度	吹奏楽団事業 定期演奏会(年1回)を始め、市民の依頼や楽団企画による演奏会実施	楽団嘱託員報酬 958千円 定期演奏会 610千円 楽器等購入・修繕 699千円 事務費等 280千円	総額	2,547	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	297
			一般財源	2,250	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大期以前並みに、出張演奏機会が増加した。
定期演奏会についても、コロナ禍以前並みの聴衆者を迎えて、開催することができた。
今後、更に演奏機会の増加が見込まれる。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

地域でのイベントや学校への訪問演奏などを通じて、市民との交流に努め、親しまれる市役所を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成など、市政への理解や参画を推進するため、事業を継続して実施する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	テレビ放送等広報事業			

【事業全体概要】

事業概要	市政に対する関心と理解を深めるため、市政の重要施策や制度など市民生活に関わりの深い事業やイベント、ニュース、市民の多彩な活動の様子などを、市民に分かりやすく伝える番組を作成し、民放テレビやケーブルテレビ、動画配信サイト「高松ムービーチャンネル」、FMラジオ放送などの広報媒体を活用して効果的に伝える。			
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・民放テレビ放送 年15回 ・ケーブルテレビ 年24回 ・FMラジオ（市政情報） 週7回 ・シティプロモーション広報動画 年7回 			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	市政情報や市の魅力を発信し、市政への理解を促すとともにシビックプライドの醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
民放テレビ広報番組制作数	本	0	0	35	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
成果指標	民放テレビ広報番組視聴率（年平均）	%	目標値	0	0	4.3	4.3	4.3
			実績値	0	0	3.2		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市政番組（3分）の年間平均視聴率は3.2%と目標値を下回ったものの、放送回によっては最高視聴率が5.5%となっている。今後とも市民生活に役立つ情報を効果的に発信する			(目標達成度)	74.4%			
			(得点)	26点				
成果指標	CATV市政広報番組視聴率	%	目標値	0	0	7.2	7.4	7.4
			実績値	0	0	7.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 3年ごとに実施している広報アンケートにおいて、CATV市政情報番組を「よく見ている」「ときどき見ている」と回答した人の割合は、全体の7.4%であった。今後とも、幅広い年齢層の視聴者に番組を継続して視聴してもらえるよう内容の充実を図る。			(目標達成度)	102.8%			
			(得点)	35点				

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	31,220	28,947	24,005	22,197
(事業費)	[千円]	14,007	13,140	12,425	10,617
(職員人件費)	[千円]	17,213	15,807	11,580	11,580

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民放テレビ放送 年34回 ・ケーブルテレビ 年24回 ・FMラジオ(市政情報) 週7回 ・シティプロモーション広報動画 年8回 	民法テレビ放送広報 5,329千円 ケーブルテレビ広報 2,322千円 ラジオ放送等広報 2,054千円 広報動画 2,574千円 有線放送 147千円	総額	12,425	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,425	
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民放テレビ放送 年15回 ・ケーブルテレビ 年24回 ・FMラジオ(市政情報) 週7回 ・シティプロモーション広報動画 年7回 	民法テレビ放送広報 4,079千円 ケーブルテレビ広報 2,322千円 ラジオ放送等広報 1,711千円 広報動画 2,360千円 有線放送 147千円	総額	10,617	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,617	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	81 / 100 (81%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

親しみやすい広報番組を目指し、民放・ケーブルテレビにおいて、広報番組を制作・放映した。また、市の魅力を発信する広報動画を制作し配信することで、市民のシビックプライド醸成に取り組んだ。一方、情報媒体が多様化する中、情報収集の方法は、世代によって異なるとともに変化していることから、必要な情報を必要な人に届けるため、対象となるターゲットや発信内容に応じて各媒体の特性をいかした情報提供が必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

テレビやラジオなどの広報媒体を活用し、市政情報や市の歴史・文化など、市の魅力を効果的に発信することで、市政への理解とシビックプライドの醸成を図る。
また、広報高松とSNSなどを連携させるメディアミックスを活用し、より効果的な情報発信を行う。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ホームページ等管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の広報媒体の中で、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページを通じて、本市の施策や取組、観光情報などの市政情報を、タイムリーに発信するとともに、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイトを開設し、写真や文字だけでは伝えることができなかった情報を映像で効果的に発信していく。				
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信（X、Facebook、LINE） ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営等 				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市からの各事業のお知らせや地域の身近な情報を配信し、市民の市政への理解・協力を深めてもらうとともに、行政と市民との協働の強化、市政への参画を促す。また、本市の持つ様々な魅力ある資源や情報を積極的に国内外へ発信し、市のPRを行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
情報更新件数（新着件数/年）	件	0	0	4,404	4,500	4,500
インターネット広報動画配信件数	本	0	0	178	180	180

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
インターネット広報動画再生件数	回	目標値 実績値	0 0	0 0	17,100 652,318	130,000	130,000
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
シティプロモーション動画「高松からうどんが消えた」が、約30万回再生され、また市長が自ら本市の魅力をもPRする動画「高松市長 大西ひでとでございます」の再生回数が伸びていること等から、動画再生回数が前年度の5倍以上となり目標数を大きく上回っている。	（目標達成度） 3814.7% （得点） 35点						
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
市ホームページ（サイト全体）へのアクセス数	千件	目標値 実績値	0 0	0 0	15,000 32,769	15,001	15,002
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
様々な市政情報をタイムリーに掲載したことで、ホームページ全体のアクセス数は、目標を大きく上回っている。	（目標達成度） 218.5% （得点） 35点						

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	14,777	20,273	17,492	16,820
(事業費)	[千円]	5,796	9,735	11,316	9,100
(職員人件費)	[千円]	8,981	10,538	6,176	7,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信 (X、Facebook、LINE) ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営等 	ホームページ管理運営 9,735千円 インターネット動画広報 219千円 公式LINE管理運営 1,245千円	総額	11,316	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,000
一般財源	10,316				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信 (X、Facebook、LINE) ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営等 	ホームページ管理運営 6,646千円 インターネット動画広報 219千円 公式LINE管理運営等 2,235千円	総額	9,100	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,231
一般財源	7,869				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

スマートフォンの普及に伴い、ホームページやSNSなどのデジタルツールを活用した情報発信の重要性は、ますます高まっている。
また、令和2年度に導入した公開用サーバーのOS (CentOS 7) のサポート終了に伴い、公開用サーバーのOS (Red hat 8) に更新を行った。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

ホームページは、即時性に優れ、情報量が多く、広範囲に情報発信でき、今後さらに、利用者の増加が予想され、「広報高松」と並び本市の中心的な広報媒体である。今後は、市公式LINEや などの各広報媒体の特性をいかしながら、ターゲットや発信する内容に応じて、最も効果的な広報媒体で情報提供を行う。また、令和9年度のホームページリニューアルに向けて取り組むとともに、広報動画とSNSを連携するメディアミックスや広報高松から市ホームページへ誘導するクロスコミュニケーションといった手法を一層活用し、より効果的な情報発信を図れるよう取り組んでいく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	広報高松等発行事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の制度や取組など、様々な市政情報を市民に分かりやすく提供することにより、市民生活の利便性を向上させるとともに、市政に対する関心と理解を深め、情報の共有化を進める。			
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報高松発行（毎月1日発行、年12回） ・ 点字等広報発行（毎月10日発行、年12回） ・ 声の広報発行（毎月1日発行、年12回） 			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市内全世帯
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対し、市の施策・事業の目的を始め、市民が利用できる行政サービスや参加できる行事等の情報を提供し、市政についての理解や協力を得るとともに、市民の市政（まちづくり）への積極的な参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
広報高松発行部数	千部	0	0	2,408	2,400	2,400
広報高松配布部数	千部	0	0	2,359	2,358	2,358

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		広報高松を読んでいる人の割合	%	目標値 実績値	0 0	0 0	86.8 76.8	86.8
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	3年ごとに実施する「広報アンケート」において「広報高松」を「全ページ読む」、「必要な記事を読む」と答えた人の割合が76.8%であった。今後とも、若者から高齢者までより幅広い年齢層の市民に親しまれる紙面づくりに努める。			（目標達成度） 88.5%		（得点） 31点		
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）		（得点）		

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	108,007	100,175	98,443	140,210
(事業費)	[千円]	89,297	88,132	86,863	120,138
(職員人件費)	[千円]	18,710	12,043	11,580	20,072

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報高松発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回) ・ 点字等広報発行 (毎月 1 0 日発行、年 1 2 回) ・ 声の広報発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回) 	広報高松発行費等 85,607千円 点字広報発行費等 1,256千円	総額	86,863	
			特定財源	国	360
				県	177
				市債	0
				他	3,871
一般財源	82,455				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報高松発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回) ・ 点字等広報発行 (毎月 1 0 日発行、年 1 2 回) ・ 声の広報発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回) 	広報高松発行費等 118,541千円 点字広報発行費等 1,597千円	総額	120,138	
			特定財源	国	797
				県	398
				市債	0
				他	3,871
一般財源	115,072				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80% ~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60% ~ 79%)					
	C (0% ~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市民により読んでもらえるよう、特集記事の拡充など内容や構成等の見直しを行った。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

広報高松は、市政情報を発信する上での基幹媒体であり、市民に役立つ市の施策や制度・イベント情報等を発信するとともに、歴史や文化、特色ある地域資源などの市の魅力を伝える情報を発信することでシビックプライドの醸成を図る。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2111
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民相談事業			

【事業全体概要】

事業概要	メールや電話・来訪等で寄せられる市民の意見・相談・苦情・要望など、広聴広報・シティプロモーション課市民相談コーナー（市役所1階）で受け付けるもので、問題の内容によって関係機関と検討の上、早期解決に努めている。相談業務としては、市政相談、一般相談、専門相談を、広聴業務としては、市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク事業などを実施している。				
年度概要	相談業務実施予定 専門相談（弁護士相談96回、司法書士相談24回） 市政相談、一般相談 通年 広聴業務実施予定 市長への提言等 通年、市政出前ふれあいトーク300回、市長まちかどトーク5回				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	相談業務を通して、市政に対する意見・苦情を始め、住民が抱えている疑問などを把握し、問題解決等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
市民相談コーナーでの市政・一般・専門相談件数	件	0	0	5,924	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		法律相談利用者の満足度	%	目標値 実績値	0 0	0 0	85 83	85
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	法律相談アンケートの回答では、「満足」「やや満足」は83%となり、前年度に比べ2ポイント減少した。「不満」「やや不満」は、前年度と同じく5%で、理由としては時間が短いなどであった。			(目標達成度) 97.6%	(得点) 34点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	36,785	33,651	31,211	31,474
(事業費)	[千円]	11,339	12,049	14,227	14,490
(職員人件費)	[千円]	25,446	21,602	16,984	16,984

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	相談業務 専門相談(弁護士相談 9 4 回、司法書士相談 2 4 回) 市政相談、一般相談 通年 広聴業務 市長への提言等 3 1 8 件、市政出前ふれあいトーク 3 3 7 回、市長まちかどトーク 2 回	3, 8 7 2 千円 ・ 1 0, 3 5 5 千円	総額	14,227	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	14,227				
令和 7 年度	相談業務実施予定 専門相談(弁護士相談 9 6 回、司法書士相談 2 4 回) 市政相談、一般相談 通年 広聴業務実施予定 市長への提言等 通年、市政出前ふれあいトーク 3 0 0 回、市長まちかどトーク 5 回	3, 9 2 5 千円 ・ 1 0, 5 6 5 千円	総額	14,490	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	14,490				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80% ~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60% ~ 79%)					
	C (0% ~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市民の声を市政に反映させるとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施してきた。
市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する必要がある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

市民の声を市政に反映して、市民サービスの向上を図るとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施している。
今後とも、市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 6年度
	事務事業	SNSを活用した魅力発信事業			

【事業全体概要】

事業概要	スマートフォンの普及などにより、手軽に利用できる生活に身近な情報ツールとなっている、LINEやXなどの市公式SNSを有効に活用し、幅広く効果的な情報発信を推進する。			
年度概要				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	スマートフォンの普及などにより、手軽に利用できる生活に身近な情報ツールとなっている、LINEやXなどの市公式SNSを有効に活用し、幅広く効果的な情報発信を推進し、シビックプライドの醸成やシティプロモーションの強化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
市公式LINEによる情報発信件数	件	0	0	2,353	1,550	1,575
市公式Xによる情報発信件数	件	0	0	145	380	400

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		市公式Xの登録者数	件	目標値 実績値	0 0	0 0	10,800 11,500	10,850
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和5年度の登録者実績は、約11,000名であることから約500名の登録者の増加が図られた。			(目標達成度) 106.5%	(得点) 35点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	1,354	0
(事業費)	[千円]	0	0	582	0
(職員人件費)	[千円]	0	0	772	0

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費					
			総額	国	県	市債	他	
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> 市公式LINE周知用ちらし、POPの作成 市公式LINE機能拡充 	市公式LINE周知用ちらしPOPの作成 88千円 市公式LINE機能拡充 495千円	総額				582	
			特定財源	国				0
				県				0
				市債				0
				他				0
			一般財源					582
令和 7 年度			総額				0	
			特定財源	国				0
				県				0
				市債				0
				他				0
			一般財源					0

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	完了
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市公式LINE「たかまつホットLINE」をリニューアルし「観光」、「シティプロモーション」に特化したタブ「まちの魅力」を新たに作成した。
市公式LINEの周知用ちらし・POPの制作を行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

事務事業としては、令和6年度で完了となるが、今後もホームページ管理運営事業の一環として継続し、市公式LINEの更なる利便性向上とともに、市公式SNS登録者数の増加のための周知啓発を図る。